

GSM/UMTS マグネットアンテナ  
MG827L-5-SMAP  
取扱説明書

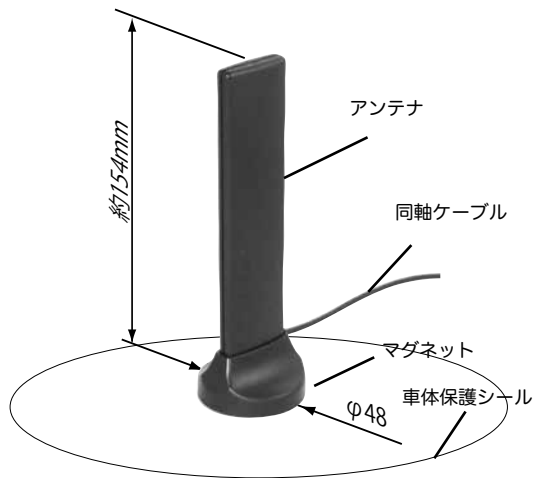
5m  
タイプ

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。

### 特長

・本アンテナは通信端末に接続することにより、外部アンテナとして機能するものです。主に制御BOXや自動車などの外部に設置することを想定し設計されています。平成21年度新保安基準に適合した、800M/1.7G/2GHz帯共用マグネットアンテナです。

### 構成部品 (各部の名称)



### 安全上のご注意 (必ずお守りください)

■ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。  
■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

#### 注意：

この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

#### コネクタを濡らさないでください。

ペットの尿やその他液体が入ると、同軸ケーブルに浸透し故障の原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

#### 乳幼児の手の届かない所に保管または設置してください。

けがなどの原因となります。

#### ペットなどのいたずらによる破損に注意してください。

ペットなどがいる場所では、アンテナ、ケーブル及びコネクタに噛みつきたり、破損しないよう保管または設置してください。

#### 雷が鳴りだしたらアンテナを収納し、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。

#### 人の多い場所では使用しないでください。

アンテナの突起物が他人に当たり、けがの原因となります。

ケーブルを極端に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものをのせたりしないでください。

ケーブルが断線し、故障の原因となります。

外観の変形、故障、破損の可能性がある場合は、直ちに使用を止めてください。

そのまま使用を続けると、アンテナ及び通信機器本体の故障の原因となります。

分解、改造をしないでください。

けがや事故または故障の原因となります。

不安定な場所へ設置しないでください。また、ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがや故障の原因となります。

本製品を水没するような環境へ設置しないでください。

本製品は、JIS Z2371による塩水噴霧試験方法のうち中性塩水噴霧試験の72時間連続運転に準拠しています。またJISによる「IPX6」に適合しております。IPX6は「強力なジェット噴流水によっても有害な影響を受けない」もので、水中における使用を想定していません。

取り付けしたアンテナを外す場合は、ケーブルを引っ張ったり、無理に外さないでください。

設置場所を破損したり、落下しけがや事故または故障の原因となります。

磁気を嫌う製品にアンテナを近づけないでください。

磁気媒体の保存内容を破損したり、機器の故障の原因となります。

#### 警告：

この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。

自動車への設置は安全第一を考慮してください。

本アンテナは平成21年度新保安基準に適合しています。主に自動車などの外部に設置することを想定しています。通法の改正により、2004年11月1日から運転者の運転中の携帯電話の使用は、罰則の対象となります。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では使用しないでください。

電子機器や医用電気機器に影響を及ぼす場合があります。

医療機関内での使用については各医療機関の指示に従ってください。

高精度な制御や微弱な信号を扱う電子機器の近くに、携帯電話に接続された状態のアンテナを設置したり、または近づけないでください。電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器などをご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

火のそばやストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置はしないでください。

発熱、発火などの事故または故障の原因となります。

- ・このアンテナを付けたまま立体駐車場、洗車機などに車を入れる際は、アンテナを天井に当てたり、洗車ブラシにアンテナ及びケーブルを巻込ませたりするなどして、損傷させないで下さい。
- ・ご使用の際は、必ずコネクタを外部アンテナ端子に差し込んでください。
- ・極端な高温、低温は避けてください。周囲の温度は、-30℃～85℃、湿度は25%～85%の範囲でご使用ください。
- ・アンテナ本体を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。
- ・しっかりと固定できる様、平滑な面に取り付けてください。
- ・金属製の物体に囲まれた状態での使用は電波の状態が悪くなる恐れがありますので、避けてください。
- ・ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください（アンテナ等の変色や、変形の原因となります）。汚れ等をふき取る場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
- ・ケーブルの最小曲げ半径は約15mmです。この大きさ以下で曲げるとケーブルへの負担が増して断線しやすくなります。また、この範囲内であっても繰り返しの曲げさせますとケーブルが断線します。



## 1. アンテナの取り付け方法

- (1) 凸凹がない水平面へ設置してください。取り付ける面を雑巾などで良く拭き、汚れを落とします。その後充分に乾かします。
  - ・金属製の車体に保護シールを貼り、マグネットで吸着させてください。

## 2. アンテナの取付け向き

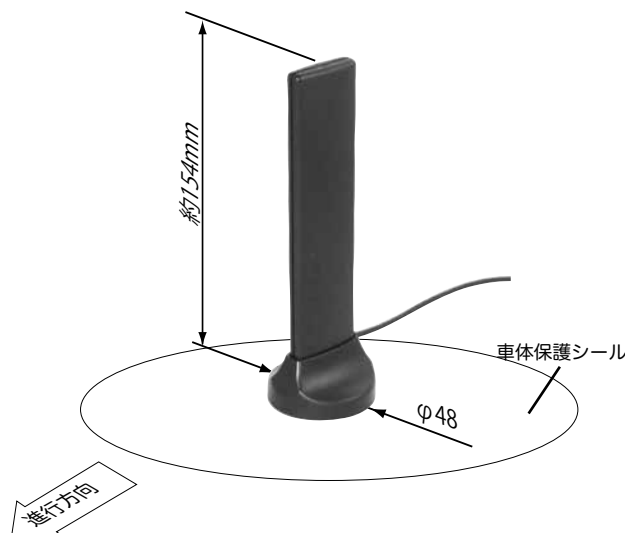
- (1) アンテナは垂直に取り付けてください。進行方向に対してケーブルは後ろになるよう取付けてください。
  - ・ケーブルの長さは、約5mです。
  - ・車体や積載物で電波が妨げられないような場所を選んで下さい
  - ・走行中または運用中にケーブルが動かないように、要所を市販のケーブルクランプなどで固定して下さい。

## 3. ケーブルの引き込み

- ・ケーブルは、ドアやハッチなどの車体の隙間を利用して室内に引込んで下さい。
- ・ケーブルに弛みが生じないように配線して下さい。
- ・配線ルートが決まったらドアやハッチを開閉してケーブルが損傷しないことをあらかじめ確認して下さい。
- ・ケーブルの室内引き込み口に、防水処理を充分行って下さい。

## 4. コネクタの接続

- (1) フォーマ本体の外部接続端子キャップを開け、コネクタの表記面を上にして水平に差し込んでください。
  - ・コネクタは絶対に無理に差し込まないでください。コネクタは正しい向き、正しい角度で差し込まないと接続できません。正しく差し込んだ時は、強い力を入れなくてもスムーズにはいるようになっています。うまく差し込めない時は、無理に差し込まず、もう一度コネクタの形や向きを確認してください。フォーマのコネクタは非常に繊細な設計になっています。無理をすると、双方のコネクタを傷める要因となります。
  - ・外部接続端子の位置は、フォーマ本体の取扱説明書をご覧ください。
  - ・フォーマ本体の機種によっては、外部接続端子が側面にある場合があります。



## 5. コネクタの取り外し

- (1) コネクタを抜くときは必ずコネクタの押しボタンを押しながら引抜いてください。
  - ・ボタンを押さずに、無理に外さないで下さい。
  - ・コネクタはこじらず真直ぐ引き抜いて下さい。
- (2) フォーマ本体の外部接続端子にはキャップを被せてください。

## 6. 不具合の主な原因

- (1) 『アンテナを接続すると圏外になる』という不具合の殆どの原因が、接続端子の破損です。コネクタの抜き差しは丁寧に行なってください。
- (2) 次に多い不具合は、コネクタ付近での同軸ケーブルの断線です。同軸ケーブルは屈曲を非常に嫌います。屈曲を繰返さないでください。